

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和7年度)

調査表

施設名	県営国民宿舎えびの高原荘 県営えびの高原スポーツレクリエーション施設
指定管理者	小林まちづくり株式会社
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
県所管部課	商工観光労働部 観光経済交流局 観光推進課

1 施設利用状況

指 標	R7	R6	R5	増減理由等
宿泊者数	7,198	5,430	10,798	4月から土日祝日のランチ営業を開始し、多いときは100名以上の利用があった。 また、宿泊プランや夕食のオプションの多様化に取り組んでおり、10月からは電動バギーや電動キックボードなどの、新たな体験メニューを開発し、利用促進を図っていることが、宿泊者数の増加に繋がった。
温泉利用者数	8,473	7,461	5,536	
スポレク施設利用者数	18,542	17,699	16,505	
コメント	指定期間2年目となり、経営体制が安定したことや新たな取組の効果もあり、利用者が増加している。取組を引き続けるとともに、プロモーションの強化を図る必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R7	R6	R5	支 出	R7	R6	R5
宿泊等売上	46,969	36,517	69,484	県納付金	0	0	0
スポレク施設売上	41,963	36,560	25,823	人件費	74,839	63,163	62,739
温泉・飲食等	84,559	65,107	74,655	仕入材料費	26,804	19,549	28,356
				管理・事務費	98,059	84,037	101,799
合 計(①)	173,491	138,184	169,962	合 計(②)	199,702	166,749	192,894
収支差額(①-②)	-26,211	-28,565	-22,932				
コメント	利用者は増加したものの、光熱費に係る支出が全体の1/4程度を占めており大幅な赤字となっている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和7年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清 掃 日常清掃(本館・宿泊棟、浴室棟、駐車場)、受水槽・浄化槽の清掃
	保守・点検 飲料水水質検査(年2回)、浄化槽点検(月2回)、高圧受電盤点検(毎月)、消防設備点検、給湯用ボイラー性能検査(定期)、昇降機点検、アイススケート場冷凍機器保守点検 等
	警 備 24時間警備の実施、防犯カメラの設置
	修 繕 大きな修繕なし
	備品等管理 定期的な清掃、点検、補修等の実施
	安全対策 災害対応のための避難訓練の実施(年2回)、非常用設備の点検 等
	その 他 適正人員の配置・シフト管理、光熱費の削減
企画運営業務	サービス提供体制整備 レストランのランチ営業開始、接遇の向上、アクセス道路の周知 等
	イベント等ソフト面充実 えびの高原で開催される「山の日」イベントへの参加、温泉スタンプラリー企画への参加 等
	施設設備等ハード面充実 冬季の防寒対策(ホット飲料提供、ヒーターの貸出し等) 等
	その 他 SNSやタウン誌、テレビ番組等での情報発信
管理運営体制	業務のマニュアル化
コメント	協定書等に基づいた適正な管理が行われ、利用者からの要望に対する改善や利用者確保の対策を実施している。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	利用者アンケート
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
マッサージ機等リラクゼーション設備がない。	マッサージ機を1台導入した。

5 総合評価

評価コメント	指定管理期間が2年目となり、昨年度課題となっていた受入体制の安定等の必要な管理運営体制は整った。協定書等に基づいた適正な管理運営も行われているが、物価高騰の影響を受け大きな赤字となっているため、利用者確保の取組を進める引き続き取り組む必要がある。
今後の課題と対応	利用者数の一層の増加による収支状況改善を図るため、効果的なプロモーションやコンテンツの拡充など地元自治体や周辺施設などと連携・協力して取り組む必要がある。